

第 23 回テーマ

「十人十色」ではなく「一人百色」

もう何年前からだろうか。実は 20 年以上前からテレビ朝日の「朝まで生テレビ」の大ファンで、月 1 の放送となっているが、毎回楽しみに観ている。先日放送されたテーマが「日本の若者論」という事で、ホリエモンも久々のテレビ出演という事で大変面白かった。

構成されたメンバーは主に若くして起業家として成功されている人ばかりで、特にリクルート出身者の方が多く、理由は何故か？という問いに「40 歳定年制」というのがあるそう。40 歳になると退職金 1000 万をもらい、起業家する人が大変多く、自由闊達な組織風土が現在のベンチャー企業で活躍している人という。

私も良くリクルート出身者の方と好意にさせて頂いた経験がある。また、ソニーなども起業家を多く輩出している印象がある。そういった企業は開発でも営業でも基本的に他企業よりも自由度が高いと良く聞く。反面、結果責任については年齢に関係なくキツイという話も聞いている。「結果が全て」とは言わないが、経営者マインドを醸成する意味ではそういった「責任と権限」のバランスが大事なのだろう。

但し、今の時代はどうだろうか？テレビでのテーマにもあったが、若い人の意識は「安定」を求めており、可能な限りリスクは負いたくないという人が多いようだ。いや、恐らくそれは「若い人だから」というカテゴリではなく、年齢層や若年層、地域性といった基軸では語れないほどに細分化している時代なのだと痛感している。マーケティング的にとらえれば、これほど難しい時代はないとも感じた。まさに「十人十色」ではなく、「一人百色」とでも言うのだろうか。既に「一人一色」ではなく、数多くの「色（価値観）」を持っているのだろうと思う。

それでも人は機械ではない。感情も持ち合わせている。完全な人はいないはずだ。何色にも混ざったとしても、もっとも強い色というのはあるはず。その色を見つけ、さらに強く輝かせる事もリーダーとしてとても大事な要件となるのだろう。